令和7年度　医療提供体制推進事業費補助金にかかる事業計画の事後的評価

（大分県）

	事業計画				実施状況						実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称	事業の支出状況（千円）					事業の進捗状況		
					国費	県費	市町村	事業者	合計			
1	救急医療対策事業	小児初期救急センター運営事業	小児初期救急センターの充実強化により、休日夜間の小児急病患者受入れ体制を確保する。	・大分市小児夜間急患センター ・中津市立小児救急センター	1,420	1,420	23,352	39,399	65,591	100%	小児初期救急センターの運営に必要な経費を補助した。	小児初期救急センターの運営を支援したことにより、休日夜間における小児初期救急患者の受入れ体制の確保が図られた。
2		共同利用型病院運営事業	共同利用型病院の充実強化により、休日夜間の重篤救急患者の受入れ体制を確保する。	・国東市民病院 ・大分県済生会日田病院 ・宇佐高田医師会病院	31,293	31,296	93,885	98,716	255,190	100%	共同利用型病院の運営に必要な経費を補助した。	共同利用型病院の運営支援により、地域における休日夜間の救急医療体制の維持・充実が図られた。
3		救命救急センター運営事業	高度な診療機能を有する救命救急センターの充実を図る。	・大分大学医学部附属病院 ・大分市医師会立アルメイダ病院	55,669	55,670	－	2,531,706	2,643,045	100%	救命救急センターの運営に必要な経費を補助した。	救命救急センターの運営支援により、高度な救急医療を提供する体制の維持・充実が図られた。
4		ドクターヘリ導入促進事業	搬送時間の短縮を図るため、ドクターヘリを活用した救急搬送システムを整備する。	・大分大学医学部附属病院	168,864	168,865	－	－	337,729	100%	ドクターヘリの運航に必要な経費を補助し、救急患者の迅速な搬送体制を支援した。	ドクターヘリを活用した救急搬送体制の維持・充実が図られ、搬送時間の短縮に向けた体制整備に寄与した。
5		救急医療情報センター運営事業	救急医療機関からの情報収集と消防機関等への情報提供により、救急患者の円滑な搬送を図る。	・大分県	1,028	2,059	－	－	3,087	100%	救急受入可否情報のシステム保守を行った。（委託事業）	医療機関・消防向けに迅速に救急受入可否情報を提供することにより、救急患者の円滑な搬送調整を行うことができた。
6		救急患者退院コーディネーター事業	地域の実情に精通したコーディネーターを医療機関等に配置することにより、救急患者の転床・転院を促進し、救急医療用病床の有効活用を図る。	・大分大学医学部附属病院 ・大分県立病院 ・大分市医師会立アルメイダ病院 ・新別府病院 ・中津市立中津市民病院	3,055	663	－	10,847	14,565	100%	地域の実情に精通した救急患者退院コーディネーターを配置し、急性期を脱した救急患者の転床・転院の調整を円滑に行った。	病院内外の調整を行い、救急医療用病床の有効活用が図られた。
7	周産期医療対策事業等	周産期医療対策事業	妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を提供する。	・大分県	384	769	－	－	1,153	100%	周産期医療協議会等を開催し、県内の周産期医療体制の現状や課題について協議し関係機関の連携強化等を図った。	総合周産期母子医療センターと地域医療機関等との連携が図られ、周産期の患者に対する適切な医療の提供が行われた。
8		周産期母子医療センター運営事業	周産期母子医療センターの充実強化により、周産期救急医療体制を常時確保する。	・大分県立病院 ・中津市立中津市民病院 ・大分大学医学部附属病院 ・別府医療センター	48,714	－	－	1,197,821	1,246,535	100%	周産期母子医療センターの運営を支援し、妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供した。	周産期母子医療センターの安定した運営に寄与し、周産期母子医療センターを中心とした周産期医療体制の整備が図られた。

令和7年度　医療提供体制推進事業費補助金にかかる事業計画の事後的評価

（大分県）

	事業計画				実施状況							
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称	事業の支出状況（千円）					事業の進捗状況	実施結果	評価
					国費	県費	市町村	事業者	合計			
9	医療提供体制設備整備事業	病院群輪番制病院及び共同利用型病院設備整備事業	病院群輪番制病院及び共同利用型病院の設備整備により、休日夜間の重篤救急患者の受入れ体制を確保する。	①大分三愛メディカルセンター ②永冨脳神経外科病院 ③大分赤十字病院 ④大分県済生会日田病院	15,754	15,757	－	151,719	183,230	100%	診断や処置等に用いる医療機器の整備に対し補助を行った。	病院群輪番制病院等に係る機器整備が図られた。 【整備した主な医療機器】 ①血液浄化装置、万能手術台ほか ②X線循環器診断システム ③全身麻酔装置、生体情報モニターほか ④除細動器
10		救命救急センター設備整備事業	救命救急センターの設備整備に対して補助を行うことにより、適正な救急医療体制を確保する。	①大分大学医学部附属病院 ②大分市医師会立アルメイダ病院	69,013	69,015	－	82,314	220,342	100%	救急医療機器の整備に対し補助を行った。	救命救急センターに係る機器整備が図られた。 【整備した主な医療機器】 ①人工心肺装置、手術用顕微鏡ほか ②生体情報モニター
11		共同利用施設設備整備事業	地域医療支援病院における共同利用部門の設備を整備し、地域の医療水準の向上を図る。	・大分医療センター	24,708	24,708	－	24,708	74,124	100%	CT装置等の整備に対し補助を行った。	地域医療支援病院における共同利用部門の設備整備により、地域の医療水準の向上が図られた。 【整備した主な医療機器】 全身用X線CT装置、放射線線量管理システムほか
12		医療施設非常用通信設備整備事業	災害時に傷病者等の受入れの中心となる医療機関が非常用通信設備を整備するために必要な経費を補助することにより、災害時における通信手段を確保する。	①大分大学医学部附属病院 ②長門記念病院 ③別府医療センター	410	－	－	1,451	1,861	100%	衛星携帯電話の整備に対し補助を行った。	災害時の通信設備の整備が図られた。 （①～③の3病院に衛星携帯電話「ワイドスターⅢ」を整備し、災害時の通信手段を確保）
13	【令和6年度からの繰越分】医療提供体制設備整備事業	災害・感染症医療業務従事者派遣設備整備事業	災害発生直後や新興感染症まん延時における被災地等の医療機能の低下に対応するため、災害・感染症医療業務従事者を派遣する医療機関を支援することにより、災害時の医療を確保する。	・長門記念病院	6,466	－	－	13,315	19,781	100%	ドクターカーの整備に対し補助を行った。	ドクターカーの整備により、災害発生時等に医療従事者を派遣する医療機関の対応体制の充実が図られた。 （救急車両の整備により、災害時等の医療従事者の派遣体制を強化）
14	アスベスト対策事業	アスベスト除去等整備促進事業	アスベスト等のばく露のおそれがある場所について、除去等の措置を行う。	・大分赤十字病院	179	－	－	151	330	100%	アスベストのばく露のおそれがある調査対象の建材における分析調査に対し補助を行った。	アスベストの使用状況がデータベースとして整理され、災害発生時の飛散・ばく露に係る応急対応の基礎資料とすることができた。 （分析調査の結果、アスベストは確認されなかった）